

新宿の未来を創る『まちづくり長期計画』を新たに策定します！

『まちづくり長期計画』は、都市マスタープランの性格をあわせ持つとともに、重点的に推進する取組みを「まちづくり戦略プラン」として示します。

1 まちづくり長期計画の構成

都市マスタープラン

- 1 めざす都市の骨格
- 2 部門別まちづくり方針
- 3 地域別まちづくり方針

まちづくり戦略プラン

1 課題別戦略

区内全域を対象に、課題ごとに示します。

2 エリア戦略

先導してまちづくりを推進する地区(エリア)ごとに示します。

まちづくり長期計画

都市マスタープラン(見直し)

- 都市マスタープランは基本計画とあわせて総合計画を構成します。
- 都市計画法に基づく「都市計画に関する基本的な方針」を示すものです。
(見直しの方向性)
 - ・将来の都市像「暮らしと賑わいの交流創造都市」は継承します。
 - ・社会経済情勢の変化、都市基盤やまちの変化を踏まえて見直します。

まちづくり戦略プラン

将来の都市像の実現に向け、重点的に推進する取組みを示します。

- ・ハードの取組み
- ・ハードを支えるソフトの取組み

1 課題別戦略

「防災」と「にぎわい」に関する取組みを示します。

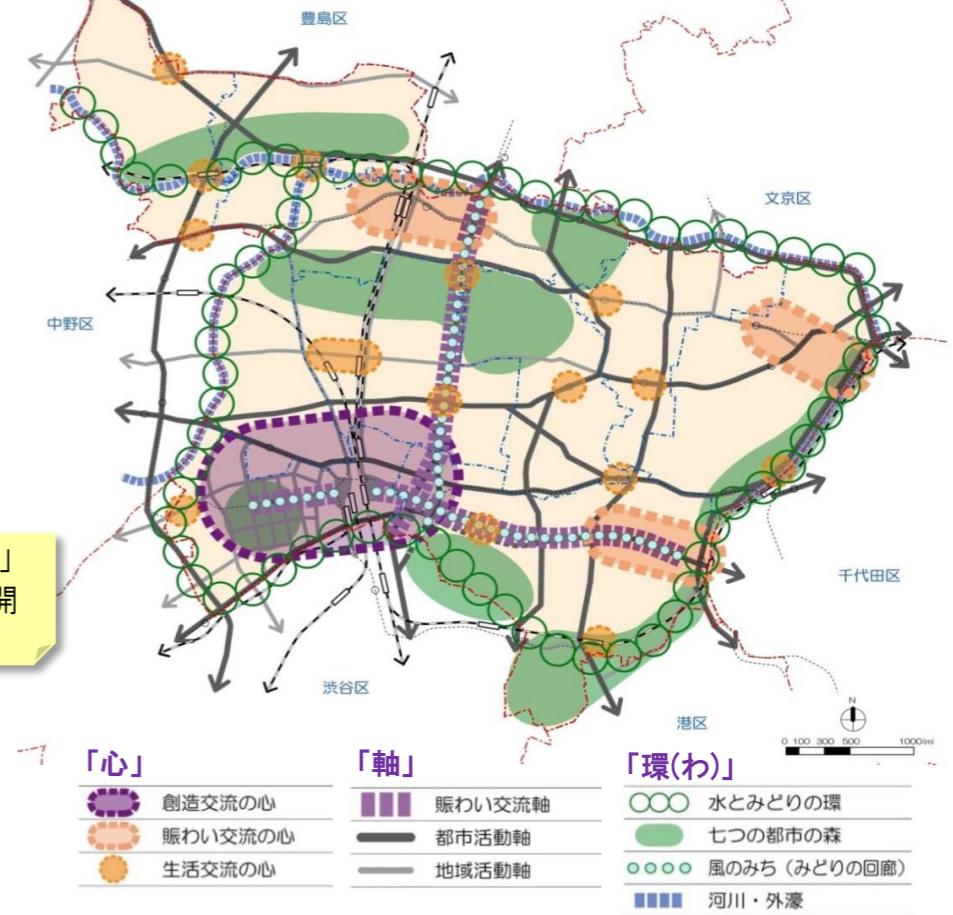
2 エリア戦略

地区(エリア)ごとの課題を明らかにして、解決に向けた取組みを示します。

地区(エリア)は、「将来の都市構造(右図)」の位置付けやまちづくりの動き、今後の展開などをふまえて選定します。

将来の都市構造 (平成19年)

都市マスタープランの中で、将来的な都市機能や都市施設等の基本的な骨格を示すものです。この「心」「軸」「環(わ)」についても、まちの変化にあわせて見直しを行います。



2 策定期期

平成29年12月を予定

3 計画の期間

10年程度(平成30~39年度)

4 策定の進め方

地域説明会やパブリックコメントなどを行い、区民のみなさまのご意見をお伺いしながら進めていきます。

平成19年(2007年) 現行都市マスタープラン策定

～新宿のまちの変化(現行都市マスタープラン策定以降)～

平成20年(2008年)	平成23年(2011年)	平成26年(2014年)	平成27年(2015年)	平成28年(2016年)
<p>①副都心線の開業</p> <p>新宿三丁目駅・東新宿駅・西早稲田駅が誕生し、まちの賑わいが生まれました。</p>	<p>②西新宿・北新宿周辺の再開発事業</p> <p>商業・業務と住宅の調和がとれた防災に強いまちづくりを進めています。</p>	<p>③補助72号線の整備(大久保通り～諏訪通り区間)</p> <p>道路の整備により、質の高い景観や空間が創出されました。</p>	<p>④おとめ山公園の整備</p> <p>自然や歴史の記憶の再生につながる「区民ふれあいの森」が誕生しました。</p>	<p>⑤環状6号線(山手通り)の整備</p> <p>交通渋滞を解消し、歩行者にやさしい山手通りに生まれ変わりました。</p>
<p>⑥新宿東宝ビル・セントラルロードの整備</p> <p>新宿東宝ビルを契機に新たな賑わいが創出されました。</p>	<p>⑦西富久地区市街地再開発事業</p> <p>良好な住環境の安心・安全なまちになりました。</p>	<p>⑧放射第25号線(新小川町)の整備</p> <p>飯田橋駅周辺の混雑緩和や防災上の向上が図られました。</p>	<p>⑨大久保三丁目西地区開発事業</p> <p>みどり豊かな業務・住居などの調和がとれたまちになりました。</p>	